

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 5 日作成)

小委員会名	連続体構造小委員会		主 査 名：武藤 厚 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：小河 利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く曲面構造（屋根シェル、容器、連続体全般）の設計や、既存建造物の性能評価のための研究の推進（全期間中）。 ・ シェルやアーチ構造の実挙動を、基礎実験と数値解析により改めて検証を試み、データベース化を行う（全期間中） ・ 新しい設計手法の検証や、さらなる設計の高度化を目指した活動を行う。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	武藤 厚 (名城大学)、今川憲英 (東京電機大学)、内山 学 (清水建設)、河村拓昌 (T T D C)、佐々木睦朗 (法政大学)、高山 誠 (金沢工業大学)、西村敏雄 (日本大学)、原 隆 (徳山工業高等専門学校)、堀 直人 (国土館大学)、前田寿朗 (早稲田大学)、真下和彦 (東海大学)、松本慎也 (広島大学)、三井和男 (日本大学)、オブザーバ；皆川洋一 (鹿児島大学)、加藤史郎 (豊橋技術科学大学)、片迫幹男 (日本設計)、川崎健二郎 (東急建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	「鉄筋コンクリート系厚肉床壁構造のデザイン 33 選WG」；コンクリート系厚肉床壁建造物の需要は近年、集合住宅の主構造としての採用が多く、これらの構造の性能評価や実用的設計法の一般化の推進		
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s13/newpage.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. RCアーチに関する各委員による実験・解析は順調に進行している 2. 活動目標全般に渡る情報交換が活発に行われている 3. 新しい手法による設計手法の提案が可能な段階に来ている、
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. WGの成果のまとめ、及び小委員会との調整が遅れている 2. 既往の実験のデータベース化は遅れている 3. 委員会としての成果の公表の検討を開始する時期である